



みねかえで しるし あお 峰楓 徽章と仰ぎ

第8号

【文責 保科 潔(教頭)】

その子らしい姿を伸ばす

学びは止まらない～「梓」のない、その子らしい学びの姿～

「学習の梓」「思考の梓」「活動の梓」

教師が「梓」をつくり、そこにはまるような誘導的な授業をしていないか。最初から「梓」が決められていたら、子どもの成長は「梓」の中で完結してしまう。そして、「梓」から外れた子どもの評価はおのずと低くなる。私たちは、この「梓づくり」を子どもの判断に託す。子ども自身が「学習の梓」をつくっていけば主体的な学びが始まり、自己決定権を保障することで、その子どもそのものの学び方・分り方が見えてくるのではないか。

「はじめに子どもありき」

竜西保育園では、遊びの中で子どもの内から生まれる「学びの芽」を育てている。伊那西小学校の子どもたちの6年間は、豊かな自然を満喫し、少人数の仲間とともに過ごす暮らしだ。自らこの子らしく歩いていく学びを大切にしている伊那小学校では、自分の思いや願いが追究の源となっている。

そして、伊那中学校。これまでの子どもたちの経験を100パーセント認め、このような子どもたちだからこそ育つ学びの芽を徹底的に探り、学校づくりを進めている。

コロナ禍で「今までの常識や価値観」が通用しなくなった。だからこそ、今を生きる子ども自身が「梓」をつくり、「新しい常識」を生み出していくことが大切なのではないだろうか。子どもたちの姿を通して、これからの学校づくりのあり方を皆様と語り合いたい。



1月29日に「第5回伊那中公開」が実施されました。例年は、県内外の教育関係機関にお知らせして参加募集するのですが、新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言や感染予防の点から、本年度は上伊那郡内の学校関係者に限定した公開となりました。これに加えて、新たな取り組みとして、臨時休業や様々な制限がある中でも学校生活を送る伊那中生のようすをご覧いただきたく、学区内の各団体役員から構成されるよりよい教育環境推進協議会の皆様、学校評議員や同窓会役員の皆様をお招きしました。参会者の皆様にお渡ししたパンフレットと授業の一端、寄せられた感想を紹介します。

1年1組 国語

授業者：橋爪 紀子

今日から私もユーチューバー
先生の動画を視聴して自分の
考えを持った生徒たちが、
ワクワクしながら授業に臨み
ます。



1年2組 社会

授業者：三上 哲史

伊那中発 高校入試改革!?
この授業で学べばテストな
んか怖くない。試験に連動し
た授業の姿がここにあります。



1年3組 美術

授業者：辻 やよい

私でも使える ICT
生活の中にあふれる色の配
色を、端末のスキルを用いて
カラフルに描いていきます。



2年1組 英語

授業者：長田 彩

Open your mind.
英語を駆使して、自由に自
分の考えを表現する生徒の姿
にご注目ください。



【国語】



心に残ったあのひと言を出し合おう。「A君がこの言葉に感動したのは、そんな理由があったんだ」「Bさんが紹介した言葉っていいな…。何だか今の私を勇気づける」日本語は美しい。言葉の持つ力を感じていきました。

【社会】



アフリカの人々が飢餓で苦しんでいる理由をクラスで追究しよう。「理由は一つじゃない」「様々なことがつながっているんだ！」目の前にある出来事には複雑な関係性があることに気づいていきました。

【英語】



英語の楽しさを小学生に伝えよう。楽しさを伝えるためには表情が大切！私は楽しく英語を話しているかな？タブレットに録画して表情をチェック。自分が相手にどう写っているかを知る時間となりました。

【美術】



タブレット端末を活用しながら、自分のアイデアを自由に広げて、色や形の組み合わせの楽しさを学習しました。仲間と考えを共有し、工夫しながら新しいひらめきを見つけていく時間になりました。

地域から寄せられた声

* 学校評価の一環として、同窓会、学校評議員会、よりよい教育環境推進会の皆様に参観していただき、寄せられたご意見の一部です

- ・思考力や判断力を大事にしているとのこと。個性を伸ばし、大人になるために必要な力だと思います。型にはまらない、しかしルールは守る。そんな伊那中生の成長が楽しみです。
- ・小学校時代の素直で、さまざまなことに挑戦したり自由な発想を持ったりしていた子どもたちの芽を伸ばしていただきたいです。自主性や主体性の大切さを知りました。
- ・生徒は伸び伸びしていて、見学者が周りにいても普通に会話していて驚きました。「学校は堅苦しい場所」というイメージが変わりました。伸び伸びと、そしてそれぞれが力をつけていける学校になると思います。
- ・変化の激しい中でも生徒の皆さんはそれなりの対応ができ、みんな同じようにやっている感じですが、その中からこぼれていないか…。自分だったらどこかで遅れていきそうで心配です。
- ・ルールの中での自由を。自分たちで考えて自分たちで行動できる力を。小学校から上がってきて、少し大人になって考え方も変わっていく中で不安もあるかと思いますが、勉強だけでなく楽しんで学校へ行くといい最低限だが難しい課題。子どもたちには、いきいきと生きていって欲しいです。

教師が一方的に説明したり課題を与えたりする授業は過去の話。今は、ある共通のテーマに基づいて疑問を持ち、その解決のための方法を考え、追究して、仲間の考えと比較・検討しながらさらに深く考えていく授業に挑んでいます。そして、このような授業をさらに充実させるための方法の一つとして ICT 機器 (iPad やパソコンなど) が活躍しています。生徒の皆さん、保護者や生徒の皆様の声聞きながら、よりよい授業のあり方を探っていきたいと思います。2月19日(金)は参観日です。ぜひ、ご来校ください。